

旭川東高だより

シマレ
ガンバレ

No.139

http://www.ah.hokkaido-c.ed.jp/

PTA事務局 〒070-0036 旭川市6条通11丁目左 ☎23-2855

目次

1 頁 校長祝辞／PTA会長祝辞／卒業生を代表して(全・定)
2 頁 卒業担任より／定時制だより

3 頁 予餞会を終えて／退職によせて
4 頁 進路指導部より／部活動報告・お知らせ

祝 辞

『北海道人として』

校長
山根 治彦

「3月1日」は毎年必ず巡ってきます。それは、そこに関わった人たちがすべてが清心な、または前向きな気持ちになれる不思議な日です。特に北海道のように厳しい冬が長く続き、閉ざされたような感覚に付き合いつつ、閉ざされたような感覚の地にあつては、尚更この思いが強まります。少しづつ輝きを増してくる日差しと大地に残る残雪の変化が、「この時」を迎えた生徒達を力一杯祝福している、そんな喜びを感じています。

さて私は、北海道に住む人々、つまり北海道人の気質的優位性は何だろうかとか考えることがよくあります。北海道人ほど、他の文化や考え方や、或いは生活様式などをいとも簡単に広い心で受け入れる、そしてしっかりと北海道のものとして取り入れる、そんなしなやかさを持つ集団は、他にはないのではないかと考えています。更に北海道人の一番良いところは、極めて人が善きこと、人を人としてとても大切にすることだと私は思っています。これは、とても淡泊で、粘り気にならず、ある意味切り換えが素早すぎるといふ北海道人の短所とも言える部分も補って余りある優位性と言えるでしょう。

本校の生徒は、すべてが北海道生まれ、北海道育ちとは限りませんが、多感な高校時代をここで過ごせば、立派な北海道人であり、本校を卒業すれば、これからどこで生きていくとも旭東スピリットを持つ人間です。卒業される皆さんは、これから社会の中で(大学生も社会人)これまで積み重ねてきた力を発揮していくわけですが、この北海道人の優位性、謂わば北海道プライドを遺憾なく発揮して活躍されることを期待しています。

親の願い

PTA会長
村井 為敦

卒業生の皆さん、高校生活はいかがだったでしょうか。100%満足のいく全く悔いのない楽しいものだったという人は少ないと思います。しかし高校生活はもう終わりです。どうか今までの生活を振り返って自分なりに反省し、次の目標を考えてみて下さい。新たな生活を充実させるために、東高での生活は必ず役に立つはずです。

卒業生の保護者の皆様、おめでとうございませう。一先ずお疲れ様でした。小・中・高校と卒業させ、いよいよ我が子が家を出てしまふ方もいるでしょう。しかし親の出番はまだあります。高校での勉強は教えられなかったけれど、これから大人になっていく彼らに、人生の先輩として忠告、助言をする機会が多くなるでしょう。どうか我が子の成長をさらに楽しんでいただければと思います。

今年1月にあまりにも悲しい出来事がありました。それは多くの大学生が犠牲になったスキーバスツアーの事故であります。皆さんと同様、これからの人生に大きな希望と夢を持っていた若者たちでした。残された彼らの親はこの現実をどのように受け止めたのでしょうか。私には理解できるはずありませんが、今回のことで思ったこと、反省したことがあります。親として子に願うことは本当はただ「生きてほしい」ということなのに、今まで余計なプレッシャーを与えていたのではないかと・・・。

卒業生の皆さん、東高生の皆さん、どうか生きてください。親の唯一の願いです。

一生東高生

全日制3年3組
米元 友作

物質の結合を解離させるためには強力なエネルギーが必要されます。解離のためには強熱したり、強い酸を加えたり・・・それは決して容易に起こる反応ではありません。今、東高3年生という「個体」として存在していた僕たちは卒業し、分散しようとしています。

その場でじっとしている個体よりも、膨張して広がっている気体の方が大きなエネルギーを持っています。散り散りになつてしまつた「気体」の僕らは、東高で過ごした日々のエネルギーで満たされています。胸には未来への「期待」を抱えながら、いつか冷却され、再び大好きな仲間たち、お世話になつた先生方とお会いするその日までしばらくお別れです。この先夢に向かって邁進していきます。

明日から

定時制4年
今井 利奈

長かった4年間でようやく終わろうとしています。18人いたクラスメイトもいまでは9人になってしまいました。入学してしばらくしてから仕事を始めるようになって、疲れもあつたか授業を受けるのが辛くなつたり、友人とぶつかり合つたりして早く卒業したいという思いだけになるところもありました。

しかしそんな中でも、部活動に頑張つたり、授業や行事で仲のよい友人と楽しい一時を過ごしたりと、それぞれみんな高校生活を過ごす意義を見つけ出してきたと思います。

明日から生活して行く中でこの4年間で得たことを生かしていきたいと思っています。

卒業担任より



学年主任（7組担任）

寺田 良

「君や我、ここに集いて」

校歌の中で、私の最も好きな一節です。3年前、この東高に集った君たち。かけがえない仲間に出会い、互いに励まし合い、競い合い、認め合い、高め合う、そんな高校生活を送ってくれたものと確信しています。なんにでも真っ直ぐにぶつかっていく、妥協せずにとことん突き詰めていく、愚直なまでのひたむきこそが東高魂だと思います。現実社会でもまれ、道を見失いそうになった時には、このことを思い出してください。東高で培った心の宝が君たちの救いとなり、道を開く糸口となるはずです。

君たちの成長の過程に伴走者として関わったことを誇りに思います。この素晴らしい出会いに感謝して、送り出したいと思えます。いつかまた会った時には、大人になった君たちからさまざまな経験談を聞けることを心から楽しみにしています。卒業おめでとう。いつまでも応援しています。



定時制 4年担任

井上 聡

やつと卒業にたどりついた4年間はとてつもなく長かったと思います。高校は高卒の資格をとるところでもあり、楽しく過ごすごころでもあると思います。1つ目につくことはみなさん達成できましたが、もう1つはどうでしたか？授業で学び、仲のよい友人と過ごし、学校の行事に参加しながらいろいろ楽しめましたか？これから自分の目標を達成するために学び、働き、そしてしつかり楽しんでください。



1組担任

宮野 俊二

卒業おめでとうございます。素晴らしい思い出に出会えたこの3年間は、とても充実したものでした。保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、子どもたちと充実した日々を過ごせました。本当にありがとうございました。みんなが、何事にも懸命に取り組む姿は素晴らしいです。その意欲、頑張りをこれからも大切にしてください。将来、みんなが色々な分野で活躍をしていることを楽しみにしています。本当にありがとうございます。



2組担任

高子 和雄

皆さん、卒業おめでとうございます。あつという間の3年間で、私が自身にとっても勉強になる3年間でした。理系クラスを持つのが始めてというところで不慣れな担任でしたが、皆さんから助けてもらいどうにか終える事ができました。また行事の時には、皆さんから感動と笑顔をももらいました。本当に感謝しています。皆さんは可能性を持って下さい。卒業後はその可能性を思う存分発揮して下さい。また本校の「シマレガンバレ」の精神を忘れず活躍されることを願っています。



3組担任

吉田 直哉

幸いにして3年間、この学年に係ることができました。いろいろな点も沢山あったと思いますが、保護者の皆さまや先生方の助けもあり、気がつけば卒業の時期を迎えております。この山のお借りしてお礼申し上げます。そして、沢山の感動や思い出を与えてくれた生徒のみなさん。おかげでとても充実した日々を過ごせました。みんなの為に働いていると同時に、みんなからもらっているものをもらえました。本当に感謝。卒業おめでとう。



4組担任

眞奥 久史

3年生のみなさん、卒業おめでとう。みなさんと過ごした日々はとても貴重なものでした。私自身も成長してきた3年間でした。高校生活を通して視野が広がったと思います。そしてこれからみなさんを持つ生活と人との出会い、さらにその視野を広げていくことと思います。これからも学び続け、自分自身を高め続けてください。みなさんのこれからの活躍を祈っています。卒業おめでとう。



5組担任

高橋 伸元

卒業おめでとうございます。本当に3年が経ちました。長かったような短かったような3年間でした。振り返るとたくさんあったことが思い出されます。つい何日前か前に入学式をして宿泊研修へ行き、見学旅行なんか昨日行つたのでは？と思うこともあれば、日々の忙しさから、それと気づいてしまふこともあります。それだけ、内容のつまつた充実した3年間だったのだなあと、思います。それらの思い出を胸に様々な分野でみなさんが活躍することを強く願っています。



6組担任

膳亀奈美枝

卒業おめでとうございます。学校をサービス業や教育産業と捉えがちな風潮の中で、生徒・保護者の皆様と関わり、学校が学び合いの場であるという、本来の姿を実感してきました。また、日々、高校生の無限の可能性を目的にしたりした三年間で、楽しい時間はあつたという間に過ぎるもので、もう卒業式、分かれるのは辛いですが、皆さんの今後の活躍を楽しみにしています。

定時制だより

本日、無事に卒業式を迎えられる、4年生9名と3年生1名（三修制）の計10名の卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。

はじめから、仕事をしながら高校に通いたいと考えてストリートに來た生徒、あるいは他の高校に通っていたけれど、辞めて來た生徒、そして東高定時制を改めてやり直した生徒、ここに來た理由はさまざまだと思いますが、高校だけは卒業しておきたいという思いは一緒ではなかったでしょうか。

最近、世の中の変化するスピードも速く、立ち止まって考えたり、後ろを振り返ってみることも難しい様な気がします。そのような中で、皆さん一人ひとりが、自分自身の人生として考え、他の人よりは少し時間が掛かってしまいましたが、卒業という節目にたどり着けたことは、素晴らしいことだと思います。

高校生活のゴールを迎えましたが、同時に一人の社会人としてのスタートです。これからの長い人生の中で、目的や目標が見えなくなり、苦しんだり、悩んだりすることが多々あるかと思えます。しかし、その時には、この東高定時制で学び終えたことを思い出し、自信をもって乗り切ってほしいと思います。

最後になりますが、卒業生の皆さんが、それぞれの場所で活躍されることを期待しております。卒業しても東高定時制とはつながっていますので、何かあった時には、遠慮なく学校に立ち寄ってください。また、皆さんの近況報告も楽しみに待っています。

予餞会を終えて

2年1組
佐藤 来夢

皆さん予餞会は楽しんでいただけたでしょうか。

この日の為に冬休み前から企画を考え、リハーサルを重ね、一つ一つのプログラム成功に時間を費やして頂いた各団体の皆さんのおかげで素敵な演出を体育館の皆さんに届けることができました。また、多くの生徒の皆さん、先生方に頂いたあたたかいメッセージは3年生の皆さんにより感謝と応援を伝えるのには必要不可欠でした。今年の予餞会はこのように沢山の皆さんに支えられて無事終えることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

予餞会で3年生の皆さんが少しでも笑顔になったのなら嬉しいです。希望の道を進み、羽ばたいていく先輩方を応援していきます。シマレ ガンバレ 東高生!!



▲ オープニング映像



▲ 担任団からのメッセージ



▲ 3年生の笑顔・笑顔・笑顔

退職によせて

国語科
太田 成司

三年生の学年主任をしていた時のことです。授業が終わって質問にきた二人の女子生徒が泣き出しました。「どうした?」って訊くと、「最近、先生がお疲れの様子で、授業の声にも張りがなく、心配でたまいません」って。こんな風に愛してくれる東高生のいる東高が大好きでした。

その年のセンター試験の当日です。「寒い中、生徒の応援、ありがとうございます」って、旭医の体育館の横の出入り口(厳寒)に立っていた僕らに、温かい飲み物を差し入れしてくださった卒業生のお母さまがいらっしやいました。「受験は団体戦だ」って、教えていただきました。お父さんお母さんと一緒に生徒を育てることのできる東高校が大好きでした。

十四年間、本当にお世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。さようなら。

数学科
加藤 満

子供の頃、聖徳太子は一を聞いて十を知った、と祖父からよく聞かされました。学が者のあるべき姿として祖父は私に聞かせたのだらうと思います。やがて数学の教員として教壇に立つことになり、教える者のあるべき姿は「十を知って一を教える」となるのでしょ。うが、「二を知って一を教える」ことが長く続きし。ばし。ば、1/2を「一に盛って来ます」って。東高校に赴任し、1回目の担任を終える頃には今まで受けた質問と同じ数の質問を受け、見たこともない問題も数多くあり、よく家庭学習をしました。

体育科
松橋 昌巳

最近になって漸く気持ちよく晩酌ができるようになってきました。厳しく指導・激励して頂いた生徒、同僚に感謝しつつ、退職します。

38年の教員生活(留萌工業高校17年、深川西高校9年、旭川東高校12年)で、多くの生徒に出会い、その人生に関わってきた。先週、東高校陸上部の教え子同士(旭医の医師と看護師)の結婚式があった。旭医大病院の患者でもある私は、テーブルスピーチで「多くの患者を救ってくださった、その一人に私も入れてください」とまとめた。先日「先生テレビ見たよ」と携帯に電話があった。留工で担任を持った生徒であるが、中途退学である。「携帯どうして知ってるの?」「ネット!」今は土建関係で立派に働いているらしい。最後に「そのうち行くから」と電話は切られた。…何をしに来るのだろうか。様々な生徒の人生に関わってきたが、今後の健康のためには、東高卒業生と深く関わることにしよう。留工卒業生が私の寿命を縮めるわけではない。

事務主任
橋本 君秀

昭和53年9月滝川高校を振り出しに、真駒内養護、星置養護しりべし学園分校、旭川商業、砂川南高校、深川西高校、旭川西高校、旭川響と勤務し、本年3月をもって本校で退職となります。37余年を省みると、大過なく自由奔放に勤めてこれたのも皆様との出会いがあったからこそと感謝申し上げます。最後になりますが皆様の益々のご発展を祈念いたします。

多様性が求められる時代の中で



進路指導部長

松井 恵一

3月1日。毎年、様々な可能性を秘めた若い才能が巣立っていく。3年前とは大きく心身ともに成長した姿で卒業の時代を迎える卒業生を見送るとき、3年間の成長を振り返りながら、これまでに卒業していった学年のことも同時に思い出す。66期生もまた、すばらしい才能と可能性を持った生徒たちであった。学業だけでなく、スポーツや文化活動等にもその才能を遺憾なく発揮した学年であった。まさしく「多様性」という言葉が似合う学年であった。

多様な個性は、時に方向性の違いを生むこともあるが、「シムレガンバレ」の言葉では、その違いを超えることができる。それは、進むべき道が異なっている、高校時代に共に学び、共に楽しめて、共に苦しんだ経験を支えにして、多方面で活躍される卒業生の方々の姿とも重なる。「一人」という個性が、「シムレガンバレ」の下に、ひとつの学年として、また、世代を超えた旭川東高校の卒業生として大きな力となって結集する。

現代の社会は、多様性の時代であると言われる。グローバル化が急速に進展し、多様な価値観や文化を受け止めて、自分らしく生きることが必要な時代とも言える。また、多様性は社会そのもののあり方を変えていく大きな力ともなる。その変化にあわせて、常に「個人」としての成長が求められる時代であるとも言える。そのような中で、個性を発揮することは、社会変化の中で必然的に求められることであるかもしれないが、一人という存在は、時に孤独や不安とも闘うこ

とを余儀なくされる。正解がひとつではない世の中で、自分が社会の中でどのような存在であるのかを見失う場面もあるかもしれない。

そうであるからこそ、多くの個性が集うこの旭川東高校において困難を乗り越えてきたという経験は、この多様性が求められる社会の中にあつて、成長を後押ししてくれる大きな力となるだろう。

本日、卒業していく66期生のみならず、卒業おめでとう。皆さんは、社会の変化に合わせて、大学入試でも新しい入試が次々と導入される難しい時代に高校生として過ごすことを余儀なくされました。しかし、このような時代の中で、皆さんが見せてくれた「多様性」は、旭川東高校生の新たな可能性に気づかせてくれるものであります。皆さんの3年間の成長と活躍は、皆さんの後に続く在校生の成長の原動力となるはず。旭川東高校生の新たな可能性を切り拓いてくれた皆さんに感謝します。
シムレガンバレ！卒業生！



▲ 東大合格セミナーより

部活動報告

【全国大会】

文芸部(神奈川県立大学全国高校生俳句大賞) 個人 入選

木村 杏香(3-6) 荒井 愛永(3-7)
柳元 佑太(2-2) 本庄 海(1-1)
堤 葉月(1-6)
ラグビー部(東西対抗戦)
U18合同チーム
岡田 恭輔(3-4)

【全道大会】 (★印は全国大会出場)

バドミントン部

(全道高等学校新人バドミントン大会)
男子団体 北北海道 3位

S 林 玖恵(2-4) 2回戦

女子団体 2回戦

(北海道バドミントン選手権大会)
男子D 林(2-4)高見(2-6)組 3回戦

卓球部 (全国高等学校選抜卓球大会北海道予選会)
女子学校対抗 D 齋藤(2-7)三浦(2-6)組 3回戦

ソフトテニス部 (インドアソフトテニス選手権)
男子 寒水(2-2)松本(2-4)組 出場

女子 岡田(1-7)鳥井(2-1) 出場

ハンドボール部 (全国ハンドボール選抜大会北海道予選会)
旭川東24・室蘭栄40 1回戦

放送局 (北海道高等学校文化連盟放送コンテスト)
ラジオ番組部門

ビデオメッセージ部門

アナウンス部門 堀川菜々花(2-4)

朗読部門 諏佐菜々子(2-5)

書道部(書道選択者も含む) 辻 敬志朗(2-1)

特選 西沢菜那花(2-2)

及川まゆみ(1-4) 櫻井宗一郎(2-1)

和泉友衣子(2-1) 眞田 悠生(2-1)

富澤 里奈(2-1) 松本 隼杜(2-4)

橋本 一輝(2-5) 八田 絵理(2-6)

宮地 薫(2-7)

(北海道学生書道展)

(北海道学生書道展)

(北海道学生書道展)

(北海道学生書道展)

(北海道学生書道展)

(北海道学生書道展)

(北海道学生書道展)

(北海道学生書道展)

【地区大会】 (☆印は全道大会出場)

加藤 拓(1-4) 奨励賞
及川まゆみ(1-4) 奨励賞

男子バレーボール部 (北海道高等学校新人大会バレーボール旭川地区予選会)
旭川東20旭川高専 1回戦

決勝リーグ 2位

女子バレーボール部 (北海道高等学校新人大会バレーボール旭川地区予選会)
旭川東20旭川龍谷 1回戦

決勝リーグ 3位

男子バスケットボール部 (会長杯争奪バスケットボール大会)
旭川東72・73神田クラブ 1回戦

女子バスケットボール部 (会長杯争奪バスケットボール大会)
旭川東27・30旭川農業 1回戦

旭川東27・143旭川龍谷 2回戦

吹奏楽部 (北海道アンサンブルコンクール旭川地区予選)
(北海道音楽器個人コンクール旭川地区予選)
サクソフォーン四重奏「Footsteps」金賞

山崎真美子(2-3) 成田奈々子(1-3)

金井 優奈(2-1) 宇山 明穂(2-5)

トロンボーン四重奏「ゴスペルタイム」金賞

南楠 琳(2-5) 山下 真理(1-7)

金澤 果歩(1-2) 安部 伊織(1-3)

オーボエ独奏「ファンタジーパストラール」金賞

木保里紗子(2-2)

ユイフオーナム独奏「ユイフオーナムのため」金賞

ファンタジー

鳥田 和奈(2-6) 金賞

弁論部(大雪杯高等学校新人弁論大会)

奥水 湊大(2-2) 最優秀賞

笠松 真生(1-7) 優良賞

吹奏楽部第18回定期演奏会 (文化会館大ホール)

3月20日(日)18時開演

音楽部第23回定期演奏会 (クリスタルホール)

3月27日(日)14時開演

お知らせ